

# 公開討論会

## BSE対策の科学

主催：日本学術会議獣医学研究連絡委員会  
後援：内閣府食品安全委員会

我が国においてBSEが発見されて以来3年間続けられていた全頭検査が見直されることとなり、BSE対策について再び議論が起きている。牛肉の安全とともに安心を確保するためには、科学的に何が正しい対策なのかを国民に対して明確に情報開示をすることが重要である。そこで、英国を始めとするEU各国でBSE対策に当たり、この問題を解決してきた科学者を迎え、日本の科学者と共にこの問題について考えたい。

開催日時：10月30日(土)午後1時から5時

会場：東京商工会議所 千代田区丸の内3-2-2

Tel 3283-7680

### 【講演】

- ・Danny Matthews, TSE Program Coordinator, U.K.  
「英国とEUにおけるBSEリスク評価と管理」
- ・Dagmar Heim, TSE Program Coordinator, Switzerland  
「スイスと国際機関におけるBSEリスク評価と管理」
- ・Stuart C. MacDiarmid, Professor, New Zealand Food Safety Authority  
「ニュージーランドにおけるBSEリスク評価と管理」
- ・Gary C. Smith, Professor, Food Safety, Colorado State University, USA  
「米国とカナダにおけるBSEリスク評価と管理」
- ・小野寺 節 東京大学教授  
「日本におけるBSEリスク評価と管理」
- ・小澤義博 OIE 名誉顧問  
「世界のBSEリスク評価と管理の比較」

### 【パネル討論】

- ・唐木英明(司会) 東京大学名誉教授

